

京都対象関係論セミナー 2021
「フロイトを読む：対象関係の視点から」
開催と参加者募集のお知らせ

京都対象関係論セミナーについて

京都対象関係論セミナーは、2015年から始まった、英国独立派の精神分析を中心に学ぶ、京都市で開催されているセミナーです。アドバイザーに教育分析家でウィニコット研究でも著名な北山修先生をお迎えして、論文の抄読と事例検討を行っています。

来年度のテーマについて

来年度は「フロイトを読む：対象関係の視点から」というテーマを設定してフロイトの重要文献を年代順に読むことで、参加者それぞれが現代の精神分析臨床の基礎を確認し、理論的な足腰をしっかりさせることを狙っています。

精神分析の理論的、臨床的発展は、いつもフロイトを参照して行われています。そのためフロイトを読んでおくと、精神分析の始まりと基本的な理解を得られるだけでなく、さまざまな論者による議論の基本的な前提を共有していることになり、その理解が容易になるという利点もあります。

来年度はCOVID-19への対応を考慮して、会場に集まって開催しながら、オンラインからも参加ができるように準備をしています。参加者がお互いに知りあうためにも（事例検討を安心して行うためにも）、一度は会場に足を運んでいただきたいと思います。オンラインからの参加が可能ですので、これまで以上に幅広い方々にご参加いただけるのではないかと思います。

これまでセミナーはやや狭い範囲の方を対象としていましたが、来年度からはより多くの方にご参加いただけるように、参加条件を変更しております。この機会に是非一度、京都対象関係論セミナーにご参加いただき、精神分析、対象関係論、独立派の臨床に触れてみて下さい。

皆様のご参加をお待ちしています。



京都対象関係論
セミナー
2021

フロイトを読む

対象関係の視点から

精神分析の始まりとして、フロイトは何度も読み直されます。対象関係の視界の中でフロイトの著作はどのように読まれていくのでしょうか。「故きを温ね、新しきを知る」。そのようなフロイト理解を試みたいと思います。

概要

- 対象 : 精神分析または精神分析的実践に携わっている臨床家
(原則として医師・臨床心理士・公認心理師等の専門資格を有すること)
- 内容 : 論文抄読 + 事例検討
- 日時 : 原則第2日曜日 13:00-17:00
- 形態 : 京都駅周辺会場とオンラインのハイブリッド形式
(オンライン中心の参加の方も一度は会場にお越しください)
- 会費 : 10回 30,000円
- 主催 : 工藤晋平 (名古屋大学)
- アドバイザー : 北山修 (日本精神分析協会訓練分析家)

論文抄読 (●は第2日曜日ではありません)

- 4/18 ● 「ヒステリー研究」全集2、ちくま学芸文庫、中公クラシックス
「夢解釈（夢判断）」全集4、新潮文庫上、中公クラシックス上 5/9
- 6/20 ● 「夢解釈（夢判断）」全集5、新潮文庫下、中公クラシックス下
「性理論のための3篇」全集6、ちくま学芸文庫（エロス論集） 7/11
- 9/12 「性格と肛門性愛」全集9
「心的生起の二原理に関する定式」全集9 10/10
- 11/14 「転移の力動論にむけて」全集12、岩崎学術出版社（フロイト技法論集）
「ナルシシズムの導入にむけて」全集13、ちくま学芸文庫（自我論集） 12/12
- 1/9 「想起、反復、反芻処理」全集14、岩崎学術出版社（フロイト技法論集）
「欲動と欲動運命」全集14、講談社学術文庫（メタサイコロジー論）、ちくま学芸文庫（自我論集） 2/13

進め方：あらかじめ司会と発表者を決め、発表者より論文の紹介をしていただきながら、論文から何を学べるかをディスカッションします。参加者が会話に入りやすい形にしたいと思います。事例検討についても、同じように発表者と司会を決めたいと思います。

お申し込み

必要事項をご記入の上、下記のメールアドレス宛にお申し込みください。受け付けを行い、お手続きについてご連絡します。また、セミナーでは事例提供者の募集もしています。事例を提供できる方はメールにその旨をご記入ください。申し込み人数が多い場合には事例提供可能な方を優先したうえで先着順とさせていただきます。

送信先 : sec@ksort.jp

タイトル : 参加申し込み

内容 : ①お名前、②ご所属、③職種（医師、臨床心理士など）、④ご住所、⑤事例提供希望

締切 : 2021年3月31日（水）